

いわぬまぶんかざいつうしん 岩沼文化財通信

☆形がない文化財☆



第 **48** 号
2026年7月16日発行
岩沼市ふるさと展示室
(市民図書館2階)
TEL:0223-25-2302

これまでの通信は
こちらから！



みなさんは「文化財」という言葉を聞くと、何を思い浮かべますか？土器や神社などをイメージする人が多いかもしれません。実は、文化財は土器など**形がある文化財**だけではなく、手で触れない、目に見えない**形がない文化財**も存在します。それぞれ岩沼市の文化財とともに紹介します。

形がある文化財



①有形文化財

建造物、絵画、工芸品など形あるもの

岩沼市：竹駒神社唐門・馬事博物館
伊達政宗騎馬石膏像 など



②記念物

天然記念物（動物・植物）、古墳、庭園

など歴史や学術上価値の高いもの
岩沼市：二木の松、かめ塚古墳



形がない文化財



③無形文化財

歌舞伎や能楽といった芸能や、漆芸や染織などの工芸技術



④民俗文化財

衣食住・生業・信仰・年中行事などに関する
風俗習慣・民俗芸能やこれらに用いられる道具など

岩沼市：竹駒奴（無形民俗文化財）

竹駒奴

竹駒神社の初午大祭で街中を練り歩く奴道中のこと。

江戸時代の参勤交代における大名行列で先陣を切った足軽が起源とされます。

？なぜ形がないのに文化財なの？

建物や絵画（有形文化財）はもし壊れてしまっても、図面や写真があれば直せるかもしれません。でも、人間のわざ（無形文化財）やお祭りの心（民俗文化財）は、やる人がだれもいなくなったら、世界から消えてしまいます。写真や動画を撮っていても、実際にできる人がいなくなったら終わりです。だからこそ、文化財として保護して未来へつないでいくことが大切なのです。

阿武クマさん

